

欧州連合は、天然ガスと原子力をサステナブルな経済活動に位置付けるのか？

ゼミナール

環境

ガスと原子力であり、ものはサステナブルで新たに採択が決定された委員会委任規則はこの点を「補完」する。

【天然ガスと気候変動の緩和】

EUタクソノミーでは6つの環境目的を定義し、1つ以上の環境目的に貢献することを要件とした。気候変動の緩和を例に取れば、温室効果ガスの排出量が少ないことが要件であり、再生可能エネルギー、再エネルギー等がこれに該当する。

争点となったのが天然ガスである。スペインやデンマークなどはカーボンロックインを

「20年間の平均でキロワットあたりの年間に理事会での否決には20カ国以上が必要であり、ここに天然ガスと原子力が一体として扱われるべき」と主張し、EUタクソノミーの原則等は既に定められていたが、21年末に発効した委員会委任規則2021/2139により、個々の経済活動に関する判断基準（スクリーニング基準）が定められた（電中研報告SE21001参照）。しかし、論争となったいくつかの経済活動が抜け落ちていた。その代表格が天然

ものはサステナブルではないと判断される。原子力はこの観点から論争となった。放射性廃棄物の処分が循環経済に対するDNSSHを満たすかが焦点であり、ドイツやオーストリアなど脱原子力を志向する国はこれを指摘した。欧州委員会の共同研究センターによる検討の結果「他の発電技術と比べて、環境に悪影響をもたらすとの科学的な証拠はない」と結論付けられたこと

を踏まえ、21年4月、原子力について、天然ガスとともにスクリーニング基準を策定することが決定された。

【天然ガスと原子力に関する基準】

今回採択が決定した基準は、天然ガスと原子力いずれも「ライフサイクル排出量がキロワット時あたり100g未満」であり、これは再生可能エネルギーの基準と同水準である。しかし、天然ガスのうち30年末までに建設許可を取得する設備については、多排出な設備の置換や再生可能エネルギー等への転換などの要件を満たす場合に限り、直接排出量がキロワット時あたり270g未満」また

懸念して厳しい基準を求めたのに対し、ポーランドやチェコなど石炭依存度の高い国々には、石炭の代替のために天然ガスの利用を認めざるべきだと主張した。

【原子力とDNSSH】

EUタクソノミーにはもう一つ、「環境目的を著しく阻害しない」という要件がある。原語(Donors harmful)の頭文字をとってDNSSHと呼ばれる。すなわち、気候変動の緩和に貢献するとしても、他の環境目的に悪影響を及ぼす

委任規則採択決定 最終決着は夏頃？

と欧州議会の検討に付される。検討期間は最大6カ月であり、最終的な決着は今年の夏頃になるだろう。ただし、両者にできるのは否決のみであり、否決され

【天然ガスと原子力に関する基準】

今回採択が決定した基準は、天然ガスと原子力いずれも「ライフサイクル排出量がキロワット時あたり100g未満」であり、これは再生可能エネルギーの基準と同水準である。しかし、天然ガスのうち30年末までに建設許可を取得する設備については、多排出な設備の置換や再生可能エネルギー等への転換などの要件を満たす場合に限り、直接排出量がキロワット時あたり270g未満」また

EUタクソノミーの原則等は既に定められていたが、21年末に発効した委員会委任規則2021/2139により、個々の経済活動に関する判断基準（スクリーニング基準）が定められた（電中研報告SE21001参照）。しかし、論争となったいくつかの経済活動が抜け落ちていた。その代表格が天然

ものはサステナブルではないと判断される。原子力はこの観点から論争となった。放射性廃棄物の処分が循環経済に対するDNSSHを満たすかが焦点であり、ドイツやオーストリアなど脱原子力を志向する国はこれを指摘した。欧州委員会の共同研究センターによる検討の結果「他の発電技術と比べて、環境に悪影響をもたらすとの科学的な証拠はない」と結論付けられたこと

を踏まえ、21年4月、原子力について、天然ガスとともにスクリーニング基準を策定することが決定された。

【天然ガスと原子力に関する基準】

今回採択が決定した基準は、天然ガスと原子力いずれも「ライフサイクル排出量がキロワット時あたり100g未満」であり、これは再生可能エネルギーの基準と同水準である。しかし、天然ガスのうち30年末までに建設許可を取得する設備については、多排出な設備の置換や再生可能エネルギー等への転換などの要件を満たす場合に限り、直接排出量がキロワット時あたり270g未満」また



富田 基史
とみた・もとし 2011年度入所、専門はサステナビリティ学、森林生態学。博士（農学）



堀尾 健太
ほりお・けんた 2018年度入所、専門は気候変動政策、原子力政策

電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員

電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 主任研究員